

# 受講案内 兼 訓練カリキュラム

建築3DCGコース（Blender） / eラーニング（オンライン・専用LMS）

発行日：2026年6月15日

発行：PERSC（KEGWORK）

文書区分：訓練機関 発行書類

本書は、人材開発支援助成金（人材育成支援コース）の申請にあたり、受講企業様が職業訓練実施計画届に添付される「訓練カリキュラム／受講案内」としてご利用いただけます。訓練の実施主体・目的・実施形態・標準学習時間・科目構成・受講料を記載しています。

## 1. 実施主体および訓練の概要

実施主体（訓練機関）	PERSC（KEGWORK） / 代表：六波羅涼
講座名	建築3DCGコース（Blender）
訓練の目的	建築・インテリア実務に必要な3DCG技術を、未経験から習得する。図面をもとに、フォトリアルな建築パース（内観・外観）を自力で制作できる状態を到達目標とする。
実施形態	eラーニング（オンライン）。専用LMS（学習管理システム）上で、動画教材・テキスト・制作演習により学習する。
標準学習時間	合計 約25時間（25時間31分30秒） 内訳：動画教材 9時間36分 + テキスト・制作演習 15時間55分
受講料	¥59,800（税込・買い切り / 1名あたり）
カリキュラム構成	基礎編 全21レッスン + 実践編 全6プロジェクト
修了要件	全レッスン・全ステップの受講完了（専用LMSが個人ごとに記録）。
進捗管理	専用LMSが受講ステップの進捗・受講状況・受講日時を個人ごとに記録・保存する。

## 2. 訓練カリキュラム（科目別・標準学習時間）

No.	科目（レッスン）	主な学習内容	標準学習時間
基礎編 Blenderの操作とモデリングの基礎（全21レッスン）			
1	インストール&7項目の初期設定	Blenderの導入・日本語化・推奨初期設定	22分22秒
2	画面構成と基本的な操作方法	UIの構成 / 視点操作 / 移動・回転・拡大縮小	28分04秒
3	画面の分割・統合	ワークスペースの分割・統合・画面交換	12分54秒
4	頂点・辺・面の基本	編集モードとメッシュ要素の選択・編集	17分52秒
5	押し出し / 面の差し込み	押し出し・面の差し込みによる形状作成	19分06秒
6	選択の基本 / いろいろな選択方法	ボックス・ループ・投げ縄など各種選択	19分26秒
7	プロポーショナル編集 / 8つの減衰タイプ	プロポーショナル編集と減衰タイプの使い分け	22分04秒
8	ループカット	ループカットによる面分割と形状調整	22分22秒
9	ナイフツール・ナイフ投影	ナイフツール・二等分・ナイフ投影	20分40秒
10	削除と溶解	削除と溶解の違いと使い分け	5分30秒
11	分割・分離・切り裂き・複製	メッシュの分割・分離・複製	20分06秒
12	統合とブーリアン	オブジェクトの統合とブーリアン演算	15分02秒
13	ペアレント / 親子関係	親子関係の設定・解除	12分02秒
14	フィルで面貼り	面張り・フィル・グリッドフィル	8分28秒
15	ピボットポイント	3Dカーソルとピボットポイントの種類	16分26秒
16	モディファイヤー	ミラー・ベベル・ソリッド化など主要モディファイヤー	25分56秒
17	マテリアルの超基本	マテリアルの追加・色設定・割り当て	20分42秒
18	カメラの設定	カメラの追加・構図・被写界深度	23分18秒
19	レンダリングのやり方・設定	ライト・解像度・レンダーエンジンと書き出し	18分28秒
20	【+α】マテリアル設定の基本	プリンスiplBSDFの各項目	21分20秒
21	【+α】ノード設定の基本	シェーダーノードの構成と接続	21分58秒
基礎編 小計			6時間34分06秒
実践編 図面をもとにした建築・インテリアの制作演習（全6プロジェクト）			
1	太陽光の入る白い部屋	シンプルな内観のモデリング～ライティング～レンダリング	30分12秒

No.	科目 (レッスン)	主な学習内容	標準学習時間
2	柔らかな光に迎えられる和の玄関	和の玄関の制作 (アドオン活用・照明・マテリアル)	1時間42分30秒
3	タイルが映えるサニタリースペース	水回り空間のモデリングとマテリアル表現	1時間16分51秒
4	グリーンタイルが魅せるブランドショップ	図面取込みからの店舗空間制作	2時間46分39秒
5	ガラス張りのコーヒーロースターズ	外観を含む建築空間の制作	3時間44分48秒
6	名建築で学ぶ「住吉の長屋」	名建築の本格モデリング (総合演習)	8時間56分24秒
実践編 小計			18時間57分24秒
標準学習時間 合計			25時間31分30秒

### 3. 標準学習時間の考え方

標準学習時間は、修了に通常必要な学習時間として、**動画教材の視聴に加え、テキスト学習および制作演習にかかる時間**を含めて設定しています (合計 約25時間)。受講者が実際に手を動かして制作するeラーニングの特性を踏まえ、各レッスンの動画尺をもとに、制作演習・振り返りの時間を加えて算定したものです。

※ 本コースはeラーニングのため、人材開発支援助成金では**経費助成が対象**です (賃金助成は対象外)。標準学習時間にテキスト・制作演習を含める設定の可否については、管轄労働局への事前相談で最終確認を行っています (2026年6月時点)。最終的な助成の可否・支給額は、受講企業様の状況および労働局の審査により決まります。

### 4. 申請にあたりPERSCが提供する書類

受講にともない、申請 (経費助成) で必要となる以下の書類をPERSCが提供します。

書類	内容・発行方法
本書 (受講案内・訓練カリキュラム)	実施主体・目的・実施形態・標準学習時間・科目構成・受講料を記載 (PERSC発行)。
受講申込書	受講のお申し込み内容 (企業名・受講者・コース・受講料・お支払い方法等)。PERSCが様式を提供し、受講企業様にご記入いただきます。
受講料の支払い証明 (領収書)	お振込の場合：PERSCが請求書・領収書を発行します。 クレジットカード決済の場合：決済事業者 (Stripe) が発行する領収書が支払い証明となります。
修了証	標準学習時間の内訳と受講完了の事実を記載してPERSCが発行。証明書にデータのハッシュ (SHA256) を記録し改ざんを検知。受講状況 (受講記録) の証明を兼ねます。

※ 受講料の支払い方法 (お振込/クレジットカード) により、支払い証明の発行元が異なります。

※ 受講状況 (受講記録) は修了証に記載しています。受講画面の保存 (スクリーンショット) は受講者ご自身でも取得いただけます。

※ 助成金の申請書および各官製様式は、受講企業様 (事業主) または社会保険労務士が作成・提出します。PERSCはその作成に必要な上記書類を提供するもので、様式の記入・申請の代行は行いません。

※ 申請に実際に必要となる証明書類は、管轄の労働局・事前相談でご確認ください。

訓練機関	PERSC (KEGWORK)
代表	六波羅涼
お問い合わせ	persc.jp / お問い合わせフォームよりご連絡ください
発行日	2026年6月15日

本書の制度に関する記載は2026年6月時点のものです。人材開発支援助成金の制度内容・要件・様式は年度や国の方針により変更される場合があります。最新かつ正確な情報は厚生労働省「人材開発支援助成金」のページ、または管轄の都道府県労働局でご確認ください。出典：厚生労働省「人材開発支援助成金」(2026年6月時点)。